

【報告】

雲南市における子どもの生活習慣づくりの取組

島根県雲南市教育委員会

社会教育課社会教育主事 大森伸一
学校教育課社会教育主事 大國 亨

雲南市の特色のある教育

学校教育と社会教育の協働による
キャリア教育の充実

『夢』発見プログラム
(雲南市キャリア教育推進プログラム)

子どもたちが、「ふるさと雲南」の地域資源、伝統文化にふれ、あたたかい人々との交流を通し、将来への夢や希望、勤労観・職業観を発達段階に応じて身につける学習プログラム。

コーディネーター制度

『夢』発見プログラム

雲南市キャリア教育推進プログラム



『夢』発見プログラム

雲南市キャリア教育推進プログラム

雲南の「ひと・もの・こと」の学習を通して
「生きる力」を発達段階に応じて育む

社会全体で子どもたちの育成
「夢」と「自信」をもたせる

学校教育と社会教育の『目標の共有化』『明確化』

キャリア教育でめざす子ども像

「いのち」を大切に
にする子ども

平和と人権
・永井隆博士の生き方を学ぼう
・人権教育

社会に貢献でき
る子ども

世の中のしくみと勤労
・ものづくり、収穫体験
・福祉施設等での交流
・職場体験学習

ふるさと雲南に誇
りをもつ子ども

歴史と文化
・ヤマタノオロチ伝説
・私のまちの伝説や文化
・神話の里スポットめぐり

健康で自立した
子ども

生活リズムと「食」
・ノーメディアの日
・お弁当の日

共通題材として雲南市の全ての小・中学校で系統的に取り組む

シート① 学習内容で学習できるべき基礎的・汎用的能力

能力	小(低)	小(中)	小(高)	中(1)	中(2)	中(3)
人間関係形成 自己調整能力
自己理解 自己管理能力
問題解決能力
キャリアプラン ニング能力

目標の明確化・共有化



コーディネーター制度

学校支援

教育支援コーディネーター

中学校区(7中学校)に7名配置 (教育委員会職員H18~)

学校教育
の充実

地域コーディネーター

全ての小学校に18名配置(地域人材H20~)

学校支援地域本部事業

地域の教育
力を学校へ

社会教育コーディネーター

中学校区の拠点小学校に7名配置
(教育委員会職員1名・嘱託職員6名(H23~))

社会教育
の充実

「学社協働」の推進の要

生活実態調査と学力調査との関連分析

子どもたちを大きくたくましく育てるために！

雲南市教育委員会

平成23年度雲南市小中学生生活実態調査と平成23年度島根県学力調査との関連分析の

雲南市教育委員会では今年度、市内小学4年生～中学3年生の約2,000人を対象に生活実態調査を実施し、県学力調査平均点との関連を分析しました。その結果、様々に関連する生活実態（体験・家庭）があることがわかりました。

アンケートの質問例
「読書をするか?」という質問に、「読書する」と回答した子どもたちの学力調査平均が100点満点中71.9点であり、「読書しない」と回答した子どもは69.0点でした。この平均点の差は、統計学的にみて有意ではなかったものの、全国的にみて読書の平均点は70点台でした。

読書



地域の人とのかかわり

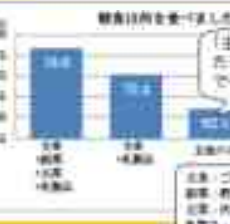
先生や家族以外でよく話をする地域の人を列入で多いと感じることはありますか?



学校の勉強や宿題、習字の色紙で地域の人に、お褒めいただいていると感じますか?



バランスの良い食事



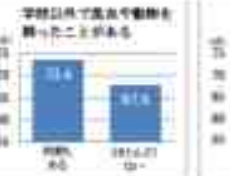
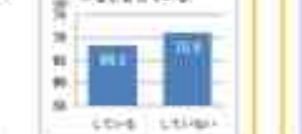
外遊び 群れ遊び



友達とどこかへ遊びに行きますか?



メディア接触



体験



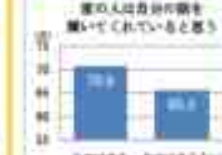
今回の分析結果は、例えば「読書をするほど学力が高くなる」ということを証明するものではありません。しかし、こうしたことは、子どもと子どもたちに体験して感じて欲しいことです。そして、これらは、学校だけでなく家庭でも行うことができます。子どもたちの生活実態や習慣が向上するように、ご家庭や地域でもさまざまな取り組みが行われることを願っています。

= 子どもの意識と学力との関係 =

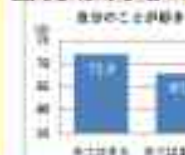
ここに示したような子どもたちの意識（考え・感じ・思い）は、これまでの様々な体験や思いからの影響がけなどによって作られます。「自分のことを好きになれる」と思っても、それで子どもは自分のことが好きになるわけではありません。



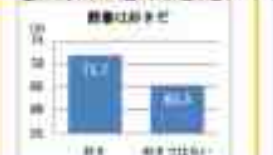
家族に認められているという実感



自分が好き!



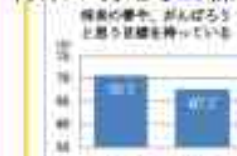
夢中になれるもの!



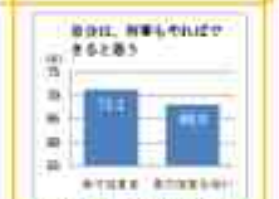
人(社会)とのかかわり・貢献



将来の明確な目標



ふるさと雲南への関心



挑戦・可能性 自身への期待

ここに示した意識の多くが「自尊感情」という言葉で表すことができます。自尊感情とは、大抵や得意な点で自分自身を評価する言動と感にも関係です。自尊感情には次の4つの柱があるといわれています。
 ①周囲から愛され包まれている「包み込まれ感」
 ②友だちと話が通じる「社交性感」
 ③自分は頑張ることが出来る人間だという「楽観性感」
 ④自分のことが好きだという「自己受容感」

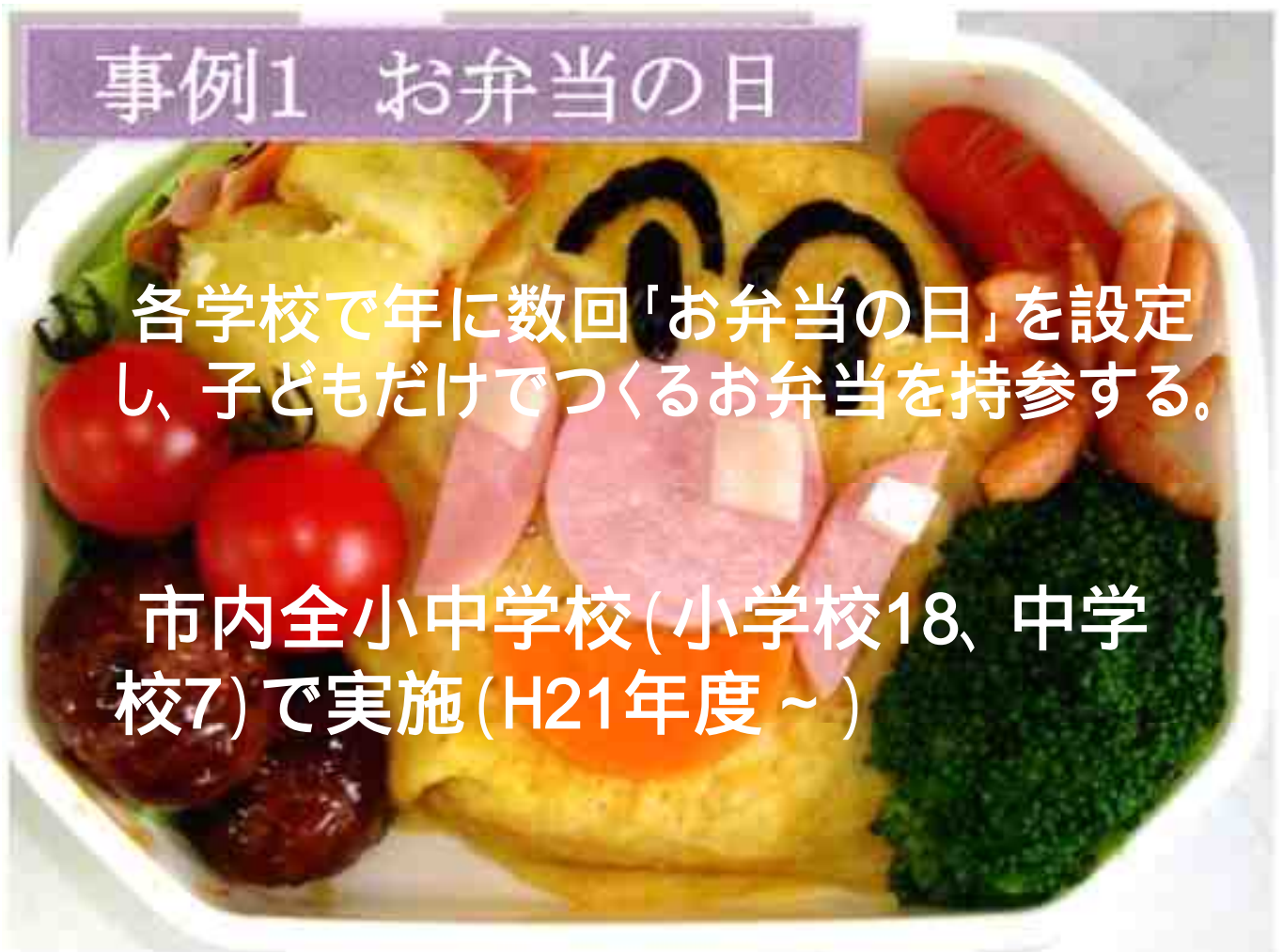
また、自尊感情の実証は「達成度」×「本人の期望」という式で「本人の願ったものがどの程度うまくいっているか」で表されるそうです。子どもたちは親や周囲からの期待に応えたいという気持ちがありますから、「本人の期望」(親や周囲からの期待)となりがちです。期待が低いなら式は成立しません。期待が高すぎるとは、子どもがどんなに頑張っても自尊感情は高くなりません。(参考: <http://facebook.jp/>より引用)大切なのは、子どもたちがこうした意識が高まるような体験をしたり、言葉をかけられたりしていることです。そして、大人は自身の生き方や考え方が、子どもの意識が作られていく上での重要なモデルになっているということに自覚する必要があるそうです。

具体的な取組

事例1 お弁当の日

各学校で年に数回「お弁当の日」を設定し、子どもだけでつくるお弁当を持参する。

市内全小中学校(小学校18、中学校7)で実施(H21年度～)



「お弁当の日」に期待すること

◆「食」について考えること

◆「家族」について考えること

◆「自立」について考えること

木次中学校「お弁当の日」

生徒だけで作る

買出し、調理、片付けまで自分だけで行う。



木次中学校「お弁当の日」

年6回実施する



木次中学校の「お弁当の日」

教職員も自作弁当
もちろん校長先生も！



チャーハン
筍の土佐煮
おひたし
鱒の照り焼き
煮込みハンバーグ
スクランブルエッグ

地域の方と一緒に・・・

芋植え



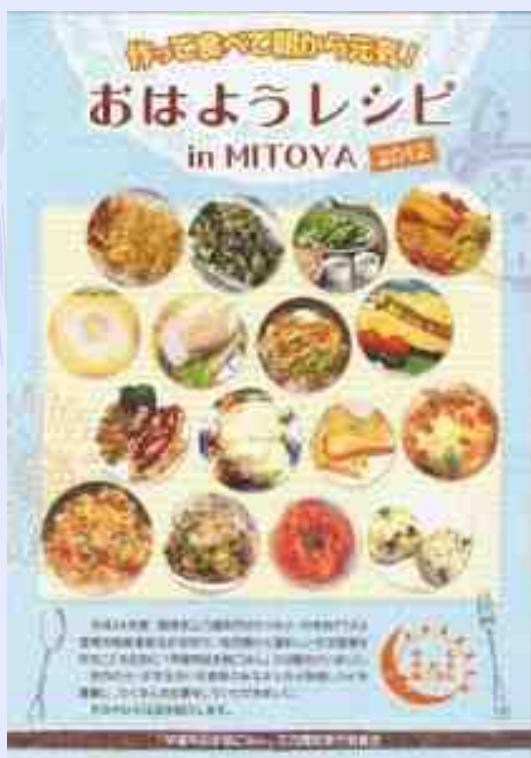
芋堀り



芋弁当



事例2 朝食レシピ



町PTA連合会と教育委員会が協働し、朝ごはんのレシピ集を作成

町内の全保護者を対象にレシピを募集

レシピ集は全保護者に配布

教育フェスタで全市に報告

なぜ、朝食レシピを作成することになったのか？

生活実態調査と学力の相関関係についての保護者研修会



何とかしなければ・・・

三刀屋町(中学校1、小学校5)のPTA役員が立ち上がり、
実行委員会を結成(6校のPTA役員+教育委員会)



保護者へのアンケート調査実施



朝食レシピ集を作成することに決定

朝食レシピ集



平成25年度は「おはようレシピ調理実習」を実施



雲南市教育フェスタ(兼雲南市PTA連合研修大会)

平成24年度 「早寝・早起き・朝ごはんフォーラム」



実行委員長による実践発表



レシピの調理実習



試食会

平成25年度 ひろがれ「弁当の日」in島根 雲南大会



シンポジウム



実践発表



竹下先生講演会



学校・地域・家庭・行政が手と手を取り合い

地域全体で子どもを育てることで

子どもが育ち

大人が育ち

雲南市で育って

雲南市で暮らし まさに

幸運なんです。

雲南です。

と思ってほしい。